

焼津市歴史民俗資料館

Yaizu City Museum of History and Folklore

# Museum Letter



（豪）  
焼津ゆかりの文豪  
小泉八雲特集

資料館だより  
増刊号

07

02

05

Travel  
06

## Kumanojinjya 熊野神社

八雲が乙吉、一雄（八雲の長男）、書生とともに熊野神社へ出かけた際、乙吉と書生だけが地面が火のように熱くなる不思議な体験をしたというエピソードが残っています。

Travel  
07

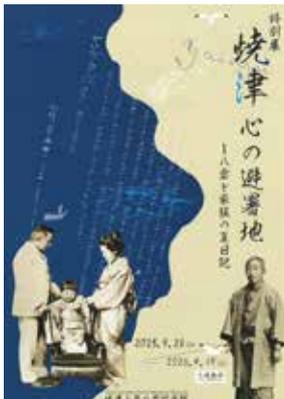
## Kaizouji 海蔵寺

焼津で取材した実話をもとに記された八雲の作品「漂流」(『日本雑記』)に登場するお寺です。荒れ狂う海で1枚の板子(船板)にしがみつき、命を拾ったこの物語の主人公天野甚助は、その板子を「小川のお地蔵さん」の名称で親しまれている海蔵寺に奉納しました。「甚助の板子」と呼ばれ、現在焼津小泉八雲記念館に展示されています。

Travel  
08

## Wadahama/Ishizuhama 和田浜(石津浜)

新屋の海が荒れていると、八雲は波の静かな和田浜まで出かけて水泳をしました。八雲の長男一雄は著者『父「八雲」を憶う』の中で、和田に行く途中、茶店「小川屋」でラムネを飲むことが、焼津での楽しみだったと記しています。



焼津小泉八雲記念館では特別展「焼津／YANZU」心の避暑地―八雲と家族の夏日記―を開催中です。  
八雲が過ごした焼津の夏と家族との想い出を感じていただける展示です。  
開催日…令和7年9月28日(土)〜令和8年4月19日(日)  
時間…9時〜17時  
場所…焼津小泉八雲記念館  
入館料…無料

Travel  
01

## Yakumotaizainoieatonohi 八雲滞在の家跡の碑

八雲が焼津で逗留していた山口乙吉の家は昭和43年に愛知県の明治村へ移築されました。現在この跡地には「小泉八雲滞在の家跡」の碑が建っています。

また、家の前を通る「浜通り」は八雲にちなみ「八雲通り」とも呼ばれ、地元の人々に親しまれています。

Travel  
02

## Shin Namiyokejizou 新波除地蔵

昭和41年に地元の人々の浄財により、八雲が見た首のとれたお地蔵様の代わりに新しく作られた波除地蔵です。

Travel  
03

## Hamatoume 浜当目

当目の浜の近くに通称「鰻屋」と呼ばれた小料理屋があり、八雲は乙吉たちと、この店に一日滞在しながら、当目の海で遊ぶこともありました。

Travel  
04

## Koushinji 光心寺

八雲は首が取れたお地蔵様を見つけ、不憫に思い、一雄(八雲の長男)の名前で新しいお地蔵様を作りたいとセツへ手紙を書きますが、縁起が悪いと反対され断念します。八雲が見た古いお地蔵様は、光心寺境内に祀られており、「八雲地蔵」とも呼ばれ親しまれています。

Travel  
05

## Kyounenji 教念寺

八雲が乙吉と訪れ、池の鯉をみたり、本堂の屋根の上から枝をのぞかせている大松を眺めて、「大変いい景色」と何度もほめたと伝えられています。

04



明治の文豪

# 小泉八雲と焼津

## ゆかりの地を訪ねて



熊野神社



2025年9月29日(月)から、小泉八雲の妻小泉セツさんをモデルとした、朝の連続テレビ小説「ばけばけ」がついに放送開始となりました。ドラマでセツさんと八雲さんがどこまで描かれるのが気になるころではありますが…

実は、焼津は八雲さんが東京に往むようになってから、ほとんどの夏を過ごした場所なんです。

八雲さんが過ごした焼津の町を巡ってみてはいかがでしょうか？



# 学芸員の推♡

Vol.8



今回の学芸員の推しを担当するのは…

昨年度から焼津歴史民俗資料館で学芸員として活躍してくれている、池谷万寿実さん。  
そんな池谷学芸員の推しは…

## 八雲からセツへの書簡です

今話題の八雲さんとセツさんのお手紙ですね！  
では存分に推しについて語っていただきますよ！

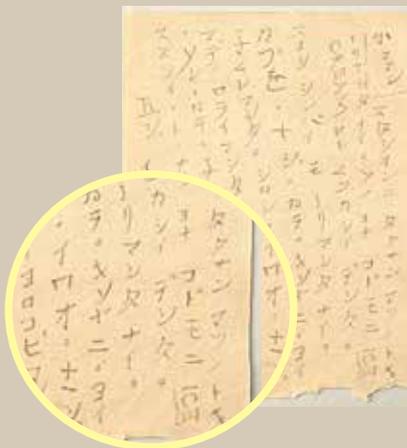
焼津小泉八雲記念館では、焼津滞在中の八雲から東京にいたセツ宛に送った手紙を8通保管しています。焼津から八雲がセツ宛に送った手紙は全部で21通あると知られていますが、現存するものはたった9通、そのうちの8通がここ焼津の小泉八雲記念館で保管されています。

手紙には焼津の海で息子たちに水泳を教えたことや、焼津のお祭りのこと、黒蜻蛉とんぼを捕まえたこ

となど焼津での日常の様子が書かれています。

手紙を読むと、片言の日本語のような文章が書かれています。この文章が、後に「ヘルンさん言葉」と呼ばれた言葉です。「ヘルンさん言葉」とは、八雲とセツが家庭生活の中で使った話し言葉で、特にセツとの間で通じる独特の言い方を含んだ片言の日本語のことです。また手紙の書き出しは「小・カワイイ・ママ・サマ」という可愛らしい言葉から始まっています。これだけでも八雲のセツへの愛情と仲睦まじさが伝わってきます。

焼津小泉八雲記念館にお越しの際は「ヘルンさん言葉」を使った「八雲からセツへの書簡」を是非ご覧になってください。



明治 37. 8.10 八雲からセツ宛書簡  
(焼津小泉八雲記念館蔵)

本当に八雲さんとセツさんの仲睦まじい様子が伝わってくるお手紙ですよ！こんなお手紙をもらってみたいですね！

9月末から始まっているドラマの主人公のお名前も8通の内の1通のお手紙に書かれている一文「タクサン マツノトキ」からとられているんですよ！ぜひ、このお手紙もみなさんに見ていただきたいですね。

## やまじんのお部屋



今回は！乙吉のだるましょうかいを紹介するよ！

今回は八雲さんの作品にも登場する「乙吉のだるま」についてだよ！八雲さんが書いた作品に登場する「乙吉のだるま」実は、乙吉さんちに飾ってあった「藤枝だるま」のこと！

お隣の市「藤枝」でだるまが作られていたんだ！  
ひげの部分が8の字に描かれているのが特徴だよ！  
八雲さんが「Otokichi's Daruma」として作品を書いているよ。八雲さんが作品に登場させたことにより、「八雲ダルマ」「乙吉のだるま」として親しまれてきたんだ。残念なことに、「藤枝だるま」は現在作り手がいらないんだって…伝統を受け継ぐってとても難しいね…



【発行・問合せ】

焼津市生きがい・交流部文化振興課 資料館担当

〒425-0071 静岡県焼津市三ヶ名 1550

☎ 054-629-6847

表紙写真：石津浜